

ミニデイサービス便り

「この齢になって」思わぬ出来事

「この齢になって、こんなこと出来るとは」とおっしゃる79歳のAさん。

まごころミニデイは、火曜日の午前中、絵を描くことが多いが、Aさんはその絵を描くことに今夢中です。

はじめは、おそろおそろ消極的で、迷って迷って、描いては消し描いては消しての作業が多く、描かれた画用紙には余白が大きくありました。

丁度1年、毎週1回の積み重ねは大きく、今ではさっさと手が動き、ご自分の絵を描ききっておられます。お体が疲れやすく殆ど外出されないAさん「本当に思っても見なかったことが出来て楽しいし、嬉しいです。」とおっしゃる。

スタッフが持ち寄る庭の花や台所の野菜など好き好きに写生、月に一度先生に来ていただきますが、その他は自分たちで勝手に描いています。勿論、Aさん以外の皆さんも大変楽しみに絵を描いておられ、その上達ぶりは目を見張るものがあります。

とても自然体でミニデイの良い時間が流れています。中には、「私はまだその時期ではないがね」と拒まれる方もあって様々ですが、そういう方も、皆の真剣な取り組みを眺めながら、雰囲気を楽しみバックミュージックと大昔の歌をピアノで弾いて下さったり、たまには絵のモデルになって下さったりとまさに助け合いです。

私たち、スタッフは少しその機会作りをさせてただけで、参加の皆さんがデイサービスを作り上げて下さっています。

平成15年10月のミニデイサービスは
事務所 2日・7日・9日・14日・21日・23日・28日
保育園 16日・30日

一宮市サービス事業所連絡会
訪問介護・看護部会

定例勉強会

日時・平成15年10月23日(木)
午後2時～午後4時

場所・一宮市萩の里
特別養護老人ホーム

内容・心理的ケアの事例検討

知的障害者(児)への「まごころふれあい広場」便り

8年後を目指して

障害を持つ子供達が学校を卒業後、働ける場所を作りたい、と授産所パン工房を目指し、お母さん方はその準備に懸命です。

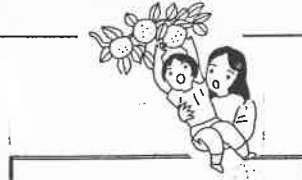
当広場で、その準備に取り組んでおられるのが「うさぎのパン屋さん」です。

先日、「いつ頃をメドにされていますか」とお尋ねを致しましたら「8年後を目指しています」と答えが返ってきた。確かに、子供さんが高等部を卒業されるのは8年後だ、と再確認。当たり前だが、決して短かな道程でない。そして、平坦な道程でもない。ぜひ頑張ってもらいたいと思っています。

「うさぎのパン屋さんを応援してください」務が
会 員・ボランティア会員(作業補助員並びに運営を手伝って下さる方)

賛助会員・活動に賛同し、協力して下さる方
一口 ¥1,000円(何口でも可)

販 売・毎週月曜日と金曜日
パン製造技術習得のためのパン教室・大人金曜日 / 障害児第3日曜日(満員です)



第15回みんなと一緒に福祉とボランティア活動展
日時・平成15年10月18日(土)午後1時～午後4時
10月19日(日)午前10時～午後4時
場所・一宮スポーツ文化センター
今年も「まごころ」は参加します。一階の広いスペースをいただきました。ミニデイサービス作品を飾り、楽器を使ってリズムでリハビリを多くの方々と楽しみたいと思っています。

一宮市から委託を受けて、当会が自立支援教室を開催します。ご参加をお待ちしています。

10月の予定	
1日(水)	会報「まごころ」発行サービス提供責任者会議 (事務)
2日(木)	ミニデイ・ミニデイ館 (事務)
4日(土)	理事会
5日(日)	定例会・勉強会 (事務)
7日(火)	ミニデイサービス (ふれあい広場)
8日(水)	橋本・自立支援教室 まごころ公開講座 サービス提供責任者会議 (事務)
9日(木)	橋本・自立支援教室 (施設)
14日(火)	ミニデイサービス (事務)
15日(水)	サービス提供責任者会議 (事務)
16日(木)	ミニデイサービス (保育)
18日(土)~19日(日)	福祉とボランティア活動展 (ス校)
21日(火)	ミニデイサービス (事務)
22日(水)	サービス提供責任者会議 (事務)
23日(木)	ミニデイサービス (事務)
28日(火)	一宮市サービス事業所連絡会 (事務)
29日(水)	サービス提供責任者会議 (事務)
30日(木)	ミニデイサービス (保育)

知的障害者・児へのふれあい広場

*ふれあい広場絵画教室	毎週土曜	13時~16時
*親子でパン作り	12日	10時~14時
*ピズ教室	15日	午
*ふれあい広場のつどい	26日	午
*ふれあい広場	月・水・金	
*太極拳	毎週火曜	16時~17時
*ピアノ教室	第4月曜	9時30分~

日時	内容	会場
10/9(木) 午前10時~12時	高年齢者の自立を考える 講師・日本福祉大学社会福祉学部教授 丹羽典彦	まごころふれあい広場
10/8(水) 午後1時~3時	リズムでリハビリと音楽で生きると 講師・県立倉川高校アコースバンド部講師 島小百合	まごころふれあい広場
午後1時~3時	絵画を楽しむ 三岸節子美術館で画家の指導を受け絵画鑑賞とお話 講師・画家 猿渡美一氏	一宮市福祉バスで三岸節子美術館
午後1時~3時	高年齢者のための太極拳 講師・楊名時式太極拳指導者 田中重子氏	一宮市福祉バスでグリーンプラザ

ある外科医の独り言

入院基本料

高 勝義

日本経済低迷のあおりを受け、当一宮地区の工場の跡地がどんどんマンションや大きなショッピングモールに変わっている。今のところ病院が潰れてマンションなどに変わったところはないのだが、他業種と同じように病院の経営も大変なのである。

景気が悪く給料が下がったために、保険料の徴収も低迷し、おまけに高齢化社会による老人医療費の高騰などにより、どの保険組合も財政難に陥っている。国の財政もしかりである。そのあおりをうけて病院に支払われる診療報酬料は下げられてしまった。

ホテルの宿泊料に当たる病院の入院基本料金は、患者さんをお世話する看護婦の数や病室の広さによって若干の格差が付けられている。また、患者さんの入院期間が長くなればなるほど、入院の基本料金がどんどん下げられてしまうのである。

例をあげてみよう。山下ホテルへ宿泊していただくとして、食事抜き一泊2万円の宿泊代である。14日を過ぎるとこの2万円の宿泊代は1万7千円になる。30日を過ぎると1万4千5百円になる。3ヶ月を過ぎると1万4千円になってしまうのである。ホテルとしては同じように接客するのなら、沢山の宿泊代を払ってくれるお客さんを選ぶであろう。

病院とておなじ事。あちこちの病院で3ヶ月を過ぎたから出ていってこれといわれ、半ば追い出されたとか、まだまだ病院に入院していたかったのに、居づらくなって出てきたとかいう話を聞く。また、そのような患者さんが山下病院をよく訪れるのである。

前にも書いたように、経営を考えれば、儲かる患者さんを入れたい気持ちは理解できるのであるが、果たして医療にその原理を取り入れて良いのであろうか?無駄な長い入院を認めるつもりはない。現に病気で苦しんでおり、家に連れて帰ろうにもどうすることもできない患者さんを、入院期間が長くなったからといって、病院から追い出そうとするこの風潮。私は我慢ならないのである。

医療はお金儲けのためなのか。苦しむ人々のためなのか。理想を追おうとすれば、経営が成り立たず、経営を優先すれば、医療の本質を見失ってしまう今の医療。何とかならないであろうか。日本の経済がよくなれば、解決するような問題ではなさそうである。

(山下病院 院長)

11月の定例会

場所「まごころふれあい広場」

在宅支援・11月2日(日) 9:30~12:30

ミニデイ・11月6日(木) 16:00~17:00

☆在宅支援定例会の午前はケアがお休みです。

利用者さんご承知下さい。お願い致します。

8月有償活動	
在宅活動件数	17件
在宅活動人数	24人
ミニデイサービス利用者	61人
移送サービス利用者数	136件
ふれあい広場	5日間
合計活動時間	303時間

8月介護保険活動	
利用件数	56件
生活支援	671.5時間
身体介護	616.0時間
合計	1287.5時間

8月支援費活動	
訪問件数	14件
身体介護	120.5時間
家事援助	29.5時間
合計	150時間